

視 察 研 修 等 報 告 書



令和6年8月1日

坂井市議会

議 長 戸 板 進 殿

会 派 名 政友会
報 告 者 川畑 孝治

1. 日 時 令和6年7月4日（木）から7月5日（金） 2日間
2. 視察研修先 (1) 株式会社フチオカ
新潟県見附市今町8丁目9-1
(2) 参議院議員会館
東京都千代田区永田町2丁目1-1
3. 視察研修内容 (1) 使用済み発泡スチロール再生工場の視察
(2) GIGAスクール構想下の教室環境についてのレクチャー
(3) 部活動の地域移行の現状と課題についてのレクチャー

4. 参加者 川畑 孝治

5. 内容詳細

(1) 使用済み発泡スチロール再生工場の視察

今日の社会において、欠かすことのできない発泡スチロールは梱包資材、魚類などの流通箱として多く使われている。ということは、使用済みの発泡スチロールも多く排出されることになる。

今回の視察では発泡スチロールリサイクル「オープンドラム」について伺った。

株式会社フチオカは近くに燕三条市があり、本来は砥石のメーカーであるが、過去には生ごみ処理機なども製造していた。

5月に伺った東京ビッグサイトでの環境展では、多くのメーカーが熱により減容化していた。それに対し、「オープンドラム」では発泡スチロールだけが溶ける薬剤が入ったドラム缶に発泡スチロールを入れ溶解させ、一定量溶解した処理液をドラム缶ごと回収、専用プラントにおいて再生分離し、PS樹脂を取り出し、それをペレット状に加工して、プラスチック類の原料としてリサイクルするというものであった。

(2) GIGAスクール構想下の教室環境についてのレクチャー

小・中学校での授業を見学した際、自分たちの時代よりも大きな教科書・ノート（B4サイズからA4サイズ）で、近年のICT、DX化によりタブレットも使用しているため、従来どおりの机では狭さを感じた。

レクチャーにおいて、他自治体での教室と廊下の壁をとったり、広いスペースの部

屋であったり、教室にこだわらない場所で授業を行っている事例を紹介された。

(3) 部活動の地域移行の現状と課題についてのレクチャー

現在、坂井市においても柔道や陸上競技など一部の部活動で地域移行が行われており、学校の先生ではなく地域の指導者のもと活動している。

レクチャーでは、他の自治体の事例などを紹介された。その中には美浜町の事例もあった。ボート競技が盛んな美浜町において、学校ではボート競技の部活動はないが、地域移行を行うことで中学の部活動としてボート競技ができるようになることで地域の特色を生かした部活動になっており、また小規模校ではできない団体競技など地域移行により複数校の生徒が集まることによって可能となり、生徒にとって部活動の選択肢が増えたとのことであった。

運動系の部活動だけではなく文科系の部活動についても紹介があったが、吹奏楽など高額な楽器を扱うことや大きな音が出ることから、地域の指導者が指導をするにしても、やはり学校施設を使うこととなり、結果先生が音楽室のカギを開けるために学校に来ることになっているとのことであった。

6. 所見・感想等

(1) 使用済み発泡スチロール再生工場の視察

「オープンドラム」は、薬剤入りドラム缶のみで完結しており、処理におけるスペースも小さく済み、導入後処理にかかる電気代などのランニングコストも不要、ドラム缶回収の際は有価で買い取る仕組みであるため、廃棄物としてのマニフェストも不要でメリットも大きいと感じたが、処理をしている映像を見ると排出された発泡スチロールをそのままドラム缶に入れて溶かすには大変時間がかかり、ドラム缶の上に発泡スチロールの粉碎機が必要では？と提案した。

また、不純物が多いと処理液のプラントにおいて受け入れを拒否されることから、ドラム缶内に最初から不純物を回収する網やネットなどを設置しては？という提案もしてきた。

「オープンドラム」はドラム缶1つで約4トントラック1台分の発泡スチロールを処理可能とのことで、発泡スチロールが多く排出されるところでは有効であると感じた。

(2) GIGAスクール構想下の教室環境についてのレクチャー

現在、春江小学校では横6列、縦5列の30人学級編成だが、机を大きくすると横6列では通路が狭くなることから、横5列で25人学級編成にしては？と提案したが、25人学級になるとクラスが増えることになり、教員不足・費用増などから難しいとのことであった。

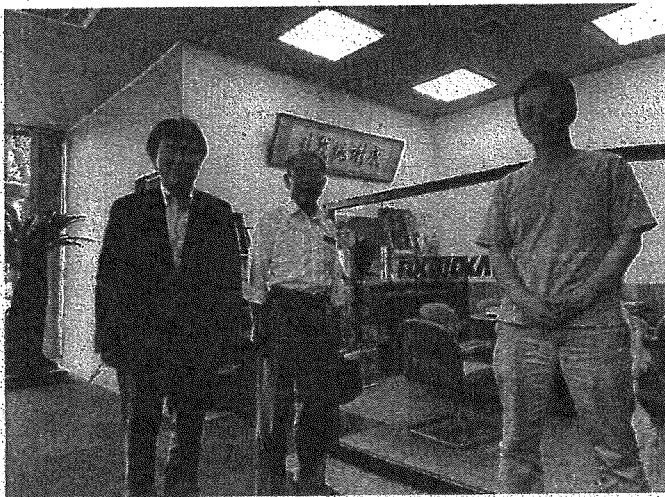
実際に机を大きくすることに対する国の補助メニューはないとのことだったが、廊下との壁を取り除くなど、施設の改修に対する補助はあるとのことだった。

(3) 部活動の地域移行の現状と課題についてのレクチャー

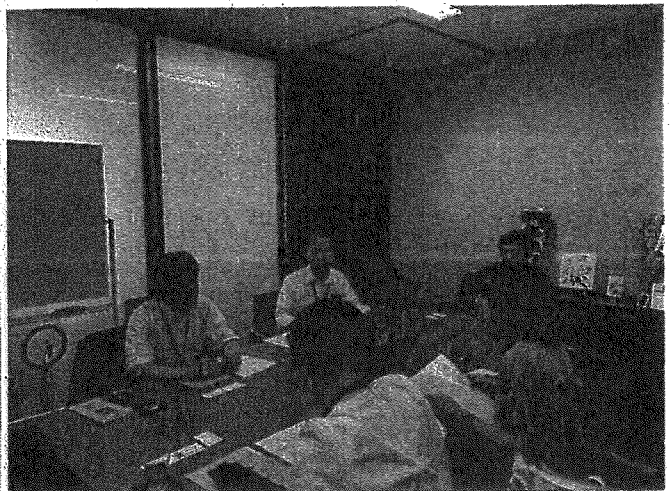
指導者の確保・費用に関する問題だけでなく、生徒の移動や活動場所の問題など課

題は多岐に渡っているが、教師の負担軽減、働き方改革のためにもいろいろな取り組みを支援したいとのことであった。期限までに地域移行が進むよう、その支援策に期待したい。

7. 添付書類



▲(株)フチオカ



▲文科省レクチャー



▲スポーツ庁・文化庁レクチャー

会 派 内 供 覧